

館山の赤山地下壕のガイド・関和美さん

## 伝える情報見つけて喜び



館山市の指定史跡「館山海軍航空隊 赤山地下壕跡」は昨年度、入壕者数が約3万8千人を超えた。戦後70年の節目だった2015年度に市内で戦争遺跡の全国大会が行われたことから注目を集め、ここ数

年の入壕者は増加傾向。人氣を陰で支えているのが市民による地下壕ガイドだ。NPO法人「安房文化遺産フォーラム」に所属する関和美さん(43)もその一人。毎月第1日曜の午前個人や少人数のグループが

対象の無料ガイドの一員として参加するほか、フォーラムが催す10人以上の団体向け有償ツアーのガイドとしても活動。赤山地下壕以外の市内の戦争遺跡や文化遺産なども紹介する。

本業は亀田総合病院の図書室で、院内の専門家に情報を提供する司書だ。NPO法人の愛沢伸雄代表が高校時代の世界史の恩師だった縁で、08年ごろからガイドを始めた。伝える情報は先輩から学ぶほか、質問を受けて自ら調べる。「調べて分かなければ、さらに調べる。情報探しは宝探し。欲しかった情報を見つけたらうれしい。そうやって地域に貢献できるのが楽しい」と笑顔で話す。

「今後は、若い世代のガイドに自分の体験や知識を継承していかなければ」

(川上真)